



こころを育む総合フォーラムメンバー [敬称略、五十音順]

入江 杏	文筆家、ケアミーツアート研究所代表、上智大学グリーンケア研究所 非常勤講師
小国 綾子	毎日新聞ジャーナリスト
工藤 啓	認定NPO法人 育て上げネット 理事長
玄田 有史	東京大学 社会科学研究所 教授
鈴木 みゆき	國學院大學 人間開発学部子ども支援学科 教授
高際 伊都子	渋谷教育学園渋谷中学高等学校 校長
堂本 晃代	パナソニック ホールディングス株式会社 企業市民活動担当室 室長
増田 明美	スポーツジャーナリスト、大阪芸術大学 教授
山極 壽一	総合地球環境学研究所所長、前京都大学 総長
鷺田 清一(座長)	大阪大学 名誉教授

公益財団法人 パナソニック教育財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階
TEL.03-5521-6100 FAX.03-5521-6200

<https://www.pef.or.jp/kokoro-forum/>



13:00～ 《第1部》
2025年度「こころを育む活動」表彰式
財団からのごあいさつ
来賓ごあいさつ
受賞候補活動の紹介
特別賞・優秀賞・全国大賞の発表
祝辞

14:40～ 《第2部》
こころを育む総合フォーラム20周年記念イベント
「こころをつなぐフェス～はじめてのドーソーカイ～」

17:00～ 《第3部》
交流会

2025年度

子どもたちの “こころを育む活動” 受賞活動

今年度は全国より261件もの
「子どもたちの“こころを育む活動”」の
ご応募をいただきました。
厳正なる選考に基づいて選ばれた
今年度の受賞活動7件をご紹介します。

小学校で開催した「金尾恵子さんの絵本巡回原画展」で、原画という芸術にふれながら、真剣に説明を聞く子どもたちの様子です。

活動
テーマ
絵本で豊かな心を育み、
笑顔があふれる街に

NPO法人 絵本による街づくりの会〔滋賀県〕

〒520-1812 滋賀県高島市マキノ町西浜953番地17
[E-mail] ehon2004city@gmail.com
[担当者] 平松 成美(理事長)

活動概要

絵本の原画展や読み聞かせ、絵本の世界を体験する活動などを21年間継続し、子どもたちのこころを豊かに育んできました。《里山探検隊》では、絵本の世界を季節やテーマに沿って自然の中で体験し、《絵本の広場》では子ども食堂や児童館での絵本が読める場作り、学校での読書支援を実施。子どもたちは絵本で感性を養い、読み聞かせに愛情を感じつつ成長しており、本とともに感じた季節の匂いや味が、ふるさとの思い出になっています。

審査講評

里山の自然を五感で体感しながら、絵本の世界に入り、感性や自己肯定感を育てている点が大きな特徴です。季節の体験や読み聞かせを通して愛情を実感でき、絵本で育んだつながりが、成長後の地域への循環につながっていることも評価されました。

米国のタギーセンターのやり方を学んだスタッフを中心に「自分たちが暮らす地域にも、タギーセンターのような場所が欲しい」と始め、2014年から「サポコハウス」の運営を開始

活動
テーマ
「わたしもだいじあなたもだいじ」
を育む

一般社団法人 グリーフサポートせたがや〔東京都〕

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂5-24-20-201
[E-mail] griefsetagaya@yahoo.co.jp
[担当者] 松本 真紀子 [HP] https://www.sapoko.org/

活動概要

同じ経験を持つ子どもたちが集い、おしゃべりや遊び(ピアサポート)を通して、参加者が自分自身の力でグリーフと向き合います。グリーフとは、身近な人や大切なものを失うほか、いじめ、暴力、離別、親からの引き離し、夢や希望の喪失など、多様な体験に対する心身の反応のこと。いろいろな気持ちになったり、思うように動けなくなったりするのは、自然なこと。自分のペースで自分の経験に触れられるような、安心・安全な場づくりを大切にしています。

審査講評

子どもたちが安心して「泣ける・話せる」環境で感情を表し、同じ経験を持つ仲間と出会うことで「一人じゃない」ことを実感しています。安全なルールの中で、自分の力で回復していくプロセスを尊重している点が評価されました。

活動
テーマ
世界の文化をみんなで
ワクワク体験しよう！

瀬田東国際交流クラブ〔滋賀県〕

滋賀県大津市
[E-mail] kaekotsushima@gmail.com
[担当者] 津島 佳絵子(代表)

活動概要

多様な文化的背景を持つ子どもたちが、さまざまな国の歌や料理、お花やダンスなどのイベントを開催し、交流を深めています。2015年、同じ幼稚園の保護者による交流から始まった活動は、国際交流に関心を持つ誰もが参加できるクラブになり、参加者の出身国は16か国に及びます。得意分野では先生役を務め、企画から後片付けまで協力して主体的に進めるなど、自分が「やってみたい」「誰かに伝えたい」と思うことに挑戦でき、自己肯定感を高められる場となっています。

審査講評

多文化の子どもたちが主体となり、得意を活かし合うことで自信を伸ばし、学校では発揮しにくい力を解放できる点がこの活動の良さです。無理しない、背伸びしない活動を通して、家族ぐるみの理解と絆が深まり、地域全体で学び合い支え合っている点が評価されました。

大学生や社会人のボランティアで手伝ってくださる方がいて、保護者は子供の見守り要員として参加しています。

活動
テーマ
「今」だからこそ地域をつなげる
子ども会

さい子ども会〔岡山県〕

〒703-8247 岡山県岡山市中区さい東町2-1-10
[E-mail] sai.kodomokai@gmail.com
[担当者] 泉 明佳(代表) [HP] https://sai-kodomokai.jp

活動概要

「子どもはもちろん、大人も一緒に楽しむ」ことを心がけ、有意義で楽しい時間となるように企画している子ども会。運営や活動を工夫し、人数は20人から約100人に増えました。生活保護世帯、一人親家庭、不登校など、社会的・経済的な課題に対し、地域における「緩やかなセーフティーネット」としても機能しています。子ども会という枠組みを維持することで、支援が必要な子とそうでない子が自然に混ざり合う「らしさ」を守っています。

審査講評

地域の子どもたちが自然に混ざり合い、多様な体験や交流を通じて成長できる場をつくっています。負担の少ない仕組みで誰でも参加しやすく、継続的な居場所づくりが子どもと家庭を温かく支えている点が評価されました。

鑑賞後には出演者や鑑賞仲間との交流会で意見交換をすほか、舞台にちなんだ物作りや体験で感動を生きる力に変えています。

活動
テーマ
子どもの成長に
本当に大切なことを活動に

特定非営利活動法人 福岡津屋崎子ども劇場〔福岡県〕

〒811-3305 福岡県福岡市宮司4-20-25
[E-mail] ftkodomo@crux.ocn.ne.jp
[担当者] 秦 泉(代表理事) [HP] https://fukutsu-kodomo.com/

活動概要

感動を生きる力に変える(生の舞台鑑賞)とキャンプを中心に展開する《生の体験活動》を柱に活動しています。設立当初より、常に子どもの権利条約の視点を大切にしつつ「子どもが主体的に関わり、自分を表現でき、自由に遊べる」環境を地域に作り続けてきました。大人も各種活動や子どもの権利の学習会に参加し、地域での孤立防止や子育て支援につながっています。長年に及ぶ継続が、参加者から支援者となる人財を生み出しています。

審査講評

舞台鑑賞や体験活動を通じ、子どもたちが主体的に表現し、遊び、学べる環境を作っています。権利条約の学びや事前事後の工夫で感動を成長に結びつけ、長年にわたる活動で地域ぐるみの支え合いと循環型子育てを実現している点が評価されました。

施設で寝泊まりし、3か月を目途に自立に向けた準備をします。1年半ほど滞在する場合も、最大で15人程度が生活しています。

活動
テーマ
非行というものがきに、
応答という支援を

特定非営利活動法人 風の家〔広島県〕

〒730-0843 広島県広島市中区舟入本町17-8
[E-mail] buratto-hiroshima@wine.ocn.ne.jp
[担当者] 浅田 慎太郎(理事長) [HP] https://kazenoe.jp/wp/

活動概要

住居提供、就労支援、福祉支援申請(生活保護受給の手続き、障がい者認定の取得)の補助など、自立に向けた総合的支援を行う民間の更生保護施設です。少年院などの矯正施設を出たり、家庭での引き受けが難しい少年の委託先として、少年たちを受け入れています。施設内で寝泊まりし、自立の準備を整えることが目標。暴力や窃盗など問題行動の背景にある心理的課題への「応答」を重視し、単なる制裁ではなく、行動の意味を理解し、適切な支援を行っています。

審査講評

少年たちの非行や問題行動の背景にある心の課題に着目し、「応答」による理解と支援を行っている点が非常に特徴的な活動です。住居や就労支援を通じて自立準備を整え、安全で丁寧な支援環境を提供していることも高く評価されました。

活動
テーマ
「わらべ歌から世界の名曲まで」
歌い継ごう

いしがき少年少女合唱団〔沖縄県〕

〒907-0021 沖縄県石垣市名蔵1-235
[E-mail] kabira-bay@nifty.com
[担当者] 高木 理恵(会長) [HP] https://www.instagram.com/ishigaki_chorus_bg/

活動概要

石垣市を拠点に活動する日本最南端の少年少女合唱団です。小中高生で構成され、週2回楽しく練習しています。国内はもちろん海外へも演奏旅行に出かけ、音楽を通じて交流しながら友情を深めています。沖縄県の慰霊祭では平和を願う歌を届け、沖縄で歌い継がれる宮良長包の曲などの大切な歌もまた、こころに響く歌声で未来へ残しています。33年続く活動は、歌を通して子どもたちに故郷の文化を伝え、自信と友情を育てています。

審査講評

沖縄、石垣の歌を通して故郷の歴史や文化を学び、仲間と楽しく歌う中で自己肯定感や表現力を育てています。国内外での演奏旅行で文化を発信し、友情や使命感を感じながら成長できる、長年継続されている点が評価されました。